



大正だより

平成28年9月1日
台東区立大正小学校
3876-5592

二学期のはじまりに 相田みつをさんの言葉をお借りして贈ります
「しあわせは いつも じぶんのところが きめる」

校長 片寄 玲子

国立西洋美術館の世界遺産登録、リオデジャネイロオリンピック等、わくわくと心躍るようなできごとが目白押しの夏休みでした。

しかしその一方で、世界では大きな事件・事故があり、私たちの国でも、決してあってはならない、同じ人間として何もできず、悔しい思いで胸がいっぱいになるような事件が起こったのも事実です。

「しあわせは いつも じぶんのところが きめる」

『人間だもの』で有名な相田みつをさんの言葉です。相田みつをさんは、誰にでも伝わるやさしい言葉で、ずしりと重たいことを心に直接届けてくださいます。この言葉は、私の心の中心にドカンと響きました。複製のはがきを、いつも見えるところに飾り、毎日、ふと目をやっては心に染み渡らせています。

幸せは、本来、誰かに押し付けられるものでも、人と比べて決めるものでも、無理やり創り出すものでもなく、自分自身が、「今、わたしは幸せだ」「わたしの人生は幸せだったな」と感じるだけでよいものだったのです。相模原市で起こった事件では、偏見をもった若者が、「生きる価値のない存在」を自分勝手に特定し、尊い命と生きる幸せを奪いました。巷では、この若者に同調するような意見を述べる人々もいるようです。実際に、私は、先日、飲食店の隣の席で、会話の内容から介護経験があると申しき女性二人が、声高に、「気持ちわかるよね」「過酷な介護では、精神状態が正常に保てなくなるよね」などと話すのを聞き、大変不快な思いをしました。併せて、日々掲載される新聞記事で、被害者の家族の方、当事者研究に携わる方等の話を目にするに連れ、改めて、社会にはびこる「身勝手」について、本当はどうあるべきなのかが分かりづらい世の中なのだということを実感しました。とめどなくあふれ出すメディアによる情報や、周囲の人が話すことなどから、私たちは、多くのことを知り、自分なりの解釈をします。その際、人と自分とを比較して一喜一憂します。そのたびに、実は自分の心が磨り減って疲れているのかもしれない。子供たちには、する必要のない苦勞をさせぬよう、私たち大人が、正しい判断の仕方を教えなければなりません。

幸せかどうか、世の中の役に立っているかどうかということについて、周囲、特に、直接関わったことのない者には、自分の尺度やその場の感覚で決めつける権利はありません。さらに、わたしたちの国には、古くから、「これを言ったら（したら）おしまい」という堰を心にもつ文化があります。その堰により、一線を越えることなく、周囲とうまくつきあい、社会の安寧が保たれてきたはずで、何もかもが多様化した現在、心に堰をもたず不安を抱えた人が、自分が生き延びるために、自分と比べて、より不幸せだと思われる人を見つけ、排除するといった事件が多すぎると感じます。子供たちが活躍する社会が、このような社会であってはなりません。

身勝手な「大きなお世話」は要りません。たとえ小さくても、その人なりの、じわじわと心に伝わる言動が必要です。子供たちが伸び伸びと今を生き、大人になった自分を自由に思い描き、夢をかなえるために力いっぱい学習したり人とかかわったりすることができる環境をつくりたいものです。

さて、最も長い区切りとなる二学期。素敵なことは素敵なこととして、気持ちを開放して喜び合い、改めるべきことは、気持ちを引き締めて改めながら、思い出を増やしてほしいです。最初に意気込み過ぎて途中で息切れしないよう、知的な刺激を小出しにしながら、子供たちの様々な方面への意欲を高めてまいります。

宿泊行事・水泳の思い出

岩井の思い出

4年生児童

わたしが、岩井臨海学園で楽しかったことはたくさんあります。その中で特に印象に残っているのは、海で泳いだことと、きもだめしです。海は小さいころに1回行ったきり2回目でした。プールとちがって、すぐにういて、とても泳ぎやすかったです。波乗りをして、遊びました。班の友達と交代でボートに乗り、みんなで速くこいだり、おしたりしたのが楽しかったです。きもだめしでは、暗い道を歩いたり、おどかされたりしたことがこわかったです。2はく3日を友達と協力して仲良く過ごすことができ、思い出に残る岩井臨海学園になりました。

日光林間学園の思い出

6年生児童

僕は日光で数え切れないほどたくさんのことを学びました。様々な活動を通じて改めて実感したこともたくさんあります。1つ目は「自分の役割を、責任をもって果たすこと」です。保健係や閉演式の司会など、様々な役割に対して、最後まで責任をもって取り組みました。2つ目は「マナーを守って生活すること」、3つ目は「自分の知識と新しく習ったことを関連付けながら学ぶこと」です。日光東照宮の見学では、事前学習で取り組んだ“日光ガイドブック”で勉強したことを結び付けることで、より一層理解が深まりました。そして4つ目は「あいさつやお礼をしっかり伝えること」です。これらの“日光で学んだこと”を生かして、これからの学校生活を過ごしたいです。日光の3日間を楽しく過ごせて良かったです。

夏の水泳学習

5年生児童

私は、泳ぐのがあまり得意ではありません。でも、この夏休みに上手になりたいと思ってがんばりました。その理由は二つあります。一つ目は、高学年は水泳記録会があって、自分の記録をとってもらえるからです。二つ目は、2年生の弟がスイミングスクールに通っていて、私と同じくらいに泳げるので、負けたくないからです。

目標は平泳ぎが25m泳げるようになることです。特にあおり足を直すことを意識して練習しました。先生方に熱心に教えてもらったり、バディのペアの友だちと教え合ったりしたので、上達しました。

夏休みのプールも、友だちといっしょにがんばって、楽しかったです。上達したことを生かして、水泳記録会では自己ベストの記録を出したいです。

9月の目標

「生活目標」健康に注意しよう

「保健目標」安全に気をつけて運動しよう

「給食目標」係や当番に協力しよう

9月の行事予定

- 1日(木) 始業式、引き渡し訓練
- 2日(金) 給食・専科授業始、2学期水泳指導始
発育測定・保健指導(6年)
- 3日(土) 土曜授業日
- 4日(日) コミュニティ祭り(3年)
- 5日(月) 発育測定・保健指導(5年)
いたどり通級始
- 6日(火) 発育測定・保健指導(4年)
保護者会(1~4年 1:30~)
(5・6年 3:00~)
- 7日(水) 発育測定・保健指導(3年)
- 8日(木) 発育測定・保健指導(2年)
プール納め、水泳記録会(5・6年)
- 9日(金) 発育測定・保健指導(1年)
歴史文化検定(5・6年)、委員会活動
- 10日(土) Pビーチブロック大会
都人権メッセージ
PTA役員会・実行委員会
- 12日(月) 着衣泳(34年34校時・56年56校時)
ランチルーム給食週間
(2-1・2-2・5-1)
- 13日(火) 交通安全指導(1~4年)
- 14日(水) 交通安全指導(5・6年)
代表委員会・地域清掃
- 15日(木) 校外学習(4年)
- 16日(金) 研究授業(3-1)
- 17日(土) 中学校を見に行こう
- 19日(月) 敬老の日
下町コメディ映画祭(金管バンド参加)
- 20日(火) 敬老給食(2年)
- 21日(水) 子ども安全の日
- 22日(木) 秋分の日
- 23日(金) 霧ヶ峰健康診断(5年)
- 26日(月) 霧ヶ峰移動教室(5年)~28日
- 28日(水) バイキング給食(1-1、1-2)
- 29日(木) 安全指導・点検、茶道教室(6年)
- 30日(金) 脊柱側湾検診(5年)
クラブ活動

●下校時刻のめやす

	3時間授業	4時間授業	5時間授業	6時間授業
通常時程	11:50	13:30	14:50	15:40
特別時程		13:10	14:15	15:05

9月の子ども会 3日、10日、24日(土)
校庭13:00~17:00
○雨天時は体育館(上履き持参)

大正小学校ホームページ

<http://www.taitocity.net/taishou-es/>